



DXのためのプロジェクトファシリテーション 1日目

2021年2月20日 JSDG 関 尚弘

アジェンダ

1. はじめに 10分
2. 参加者自己紹介(リレースピーチ形式) 30分
3. 事例紹介「ファシリテートされたプロジェクトの16年後」 10分
4. 演習(ペア・グループ・クラス) 30分+休憩10分+60分+20分発表+10分
5. おわりに 30分
6. 質疑応答とディスカッション 30分
7. フリートーク(参加は任意 ~19:00)

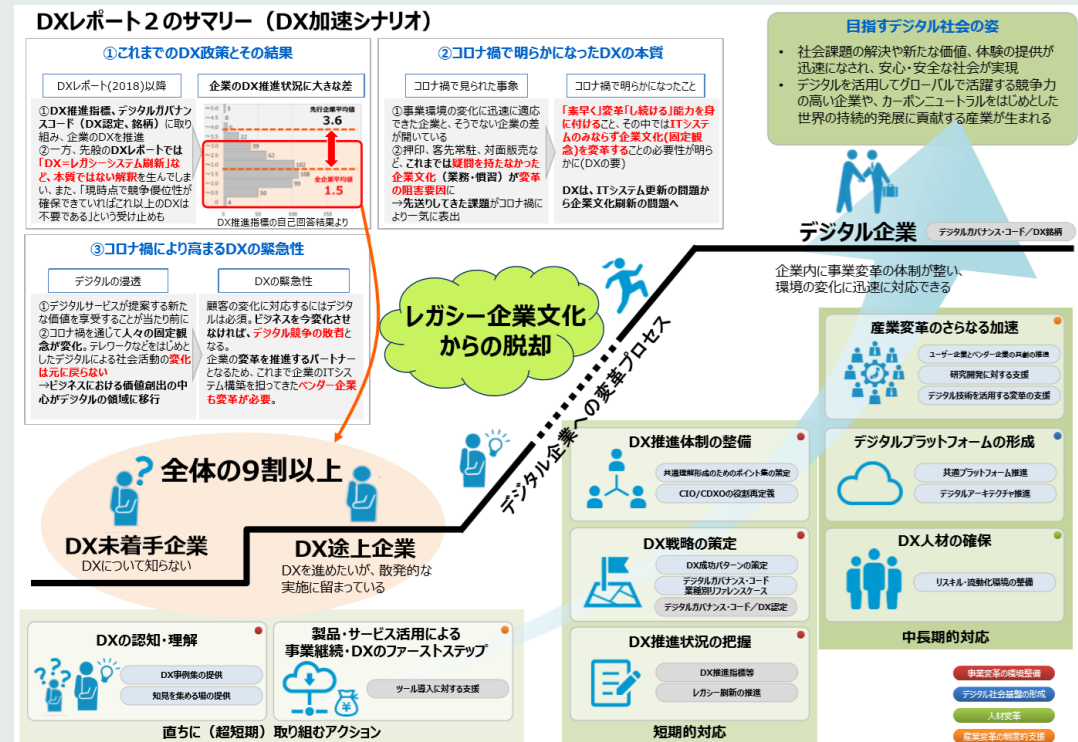
2020年度 JSDG オンラインDX研修 第2講

目的

- プロジェクトファシリテーションについて体験的に学ぶ




構成

- 1日目 知識編(2月20日)
- 2日目 演習編(2月27日)



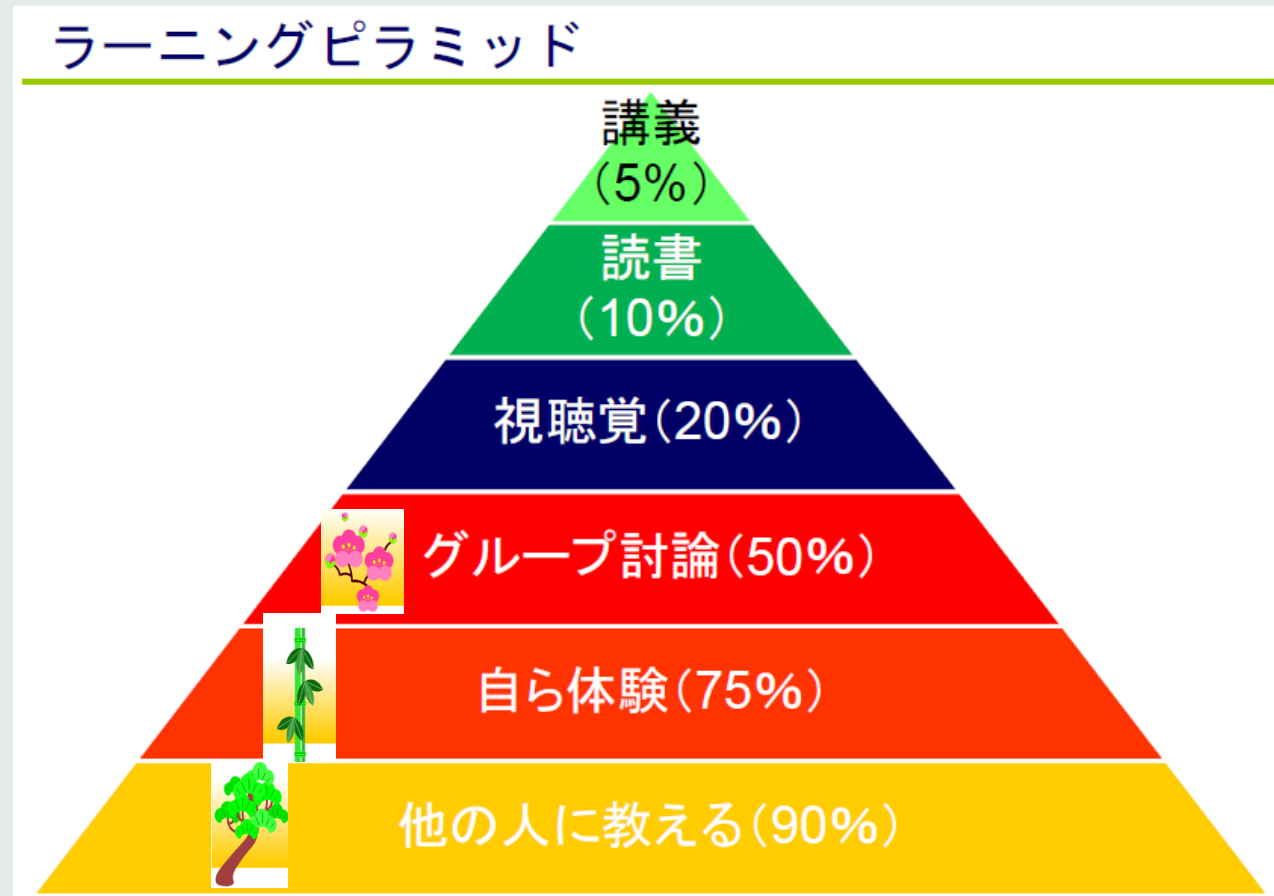
<https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201228004/20201228004-1.pdf>

研修受講後の状態1/2(ゴール・何が達成されるか)

	現状	受講後の態度	受講後の知識	受講後のスキル
 松	普段から ファシリテーション している 13%	より効果的・効率的に ファシリテーションを 実施できる プロジェクトファシリ テーションも実践したい	① スキル・用語の説 明ができるように なる	① チェックシート を使いファシリ テーションの セルフチェック ができる
 竹	時々 ファシリテーション する機会がある 56%	ファシリテーターをより 積極的に引き受ける	② どういう局面で 使うか説明でき るようになる	② 会議準備シート を使い、効率的 かつ効果的な会 議の準備ができ る
 梅	ファシリテーション する機会は ほとんどない or全くない 31%	会議に出る機会を探す 機会があったら 隠れファシリテーターを やってみる		

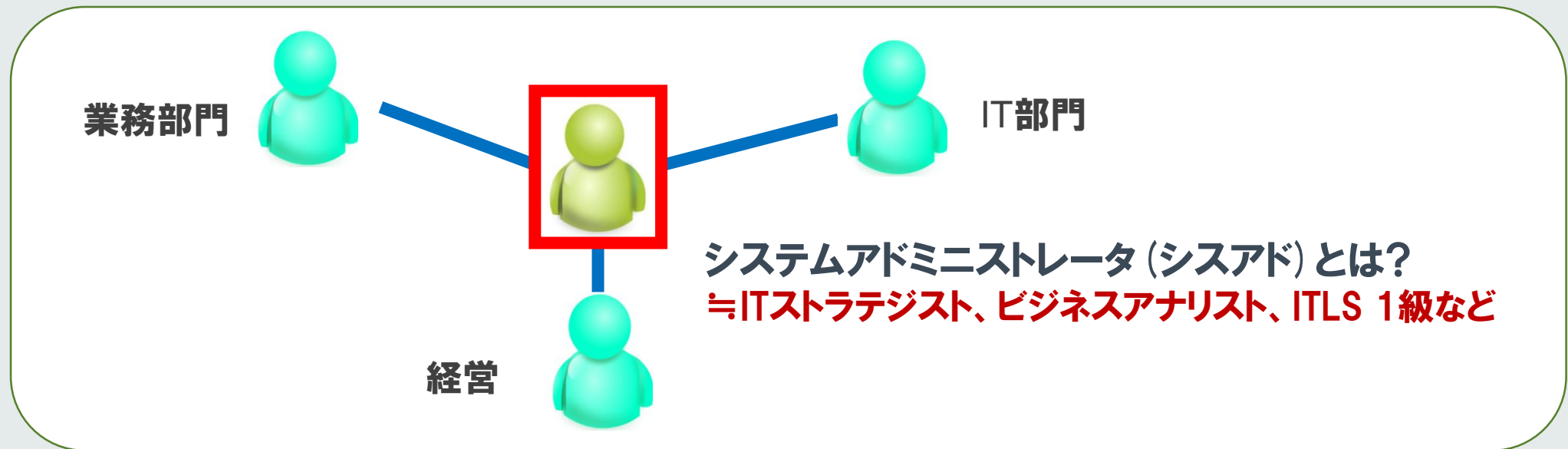
※1日目のみ受講の方は受講後の状態が十分ではない可能性があります。

研修受講後の状態2/2(ゴール・何が達成されるか)



JSDG(日本システムアドミニストレータ連絡会)とは

- **本日はJSDG設立記念日** (1997年2月20日設立)
- **業務改革を推進するリーダー**として、**利用者の視点でITの活用を促進**し、社会の発展に寄与する人材で 当会の趣旨に賛同する方で構成される団体です。多岐にわたる業種、職種、地域、年齢の会員が集まって各種の交流を行っております。



古河電工 人事BPRプロジェクト

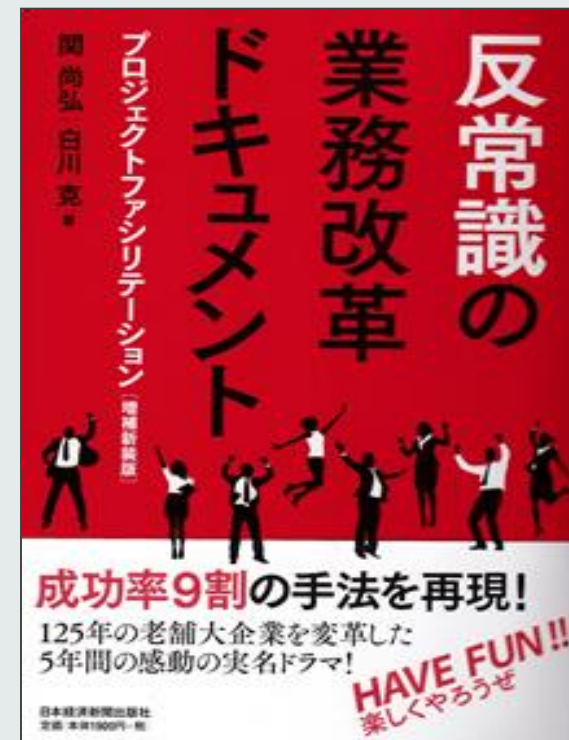


初版:2009年8月19日

日本経済新聞出版社

- ・朝日新聞書評で絶賛。「脱帽である・・・」
- ・新聞、雑誌、SNS、ブログで多数紹介
- ・丸善オアゾ本店ランキング 1位
- ・Amazon.co.jp 3部門でランキング 1位
- ・Amazon.co.jp 総合ランキング 46位

計14,500冊完売
中古or電子書籍のみ



増補版:2013年10月21日

日本経済新聞出版社

古巣に戻って見たら…

1. プロジェクトの成功(品質・コスト・納期・効果)

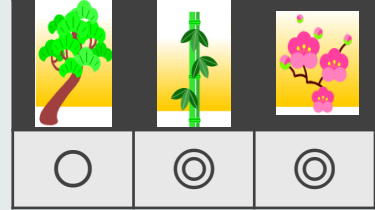
2. 幸せなご縁(絶対的な信頼関係)

3. 人の成長(やり切る力)

4. 成長する組織(良い習慣は自然に定着)

5. 改善の継続と発展(Have Fun!)

「育つプロジェクト」
この部分を
皆様に伝えたい!!



傾聴のペアワーク

【演習の目的】

- ・ファシリテーションで最も重要なスキルである傾聴とは何か？
身体と感情で知る。

【演習の進め方】

- ① 関から説明
- ② 2人1組で、交互にペアワーク
- ③ 交互に感想とフィードバック

※本日のグループ分けの考え方(ペアワーク)
・Zoom機能でランダムに

グループワーク

1. 目的

初対面&準備無しでの会議をやってみる

2. 内容

①事前課題を画面共有しながら自己紹介

②ファシリテーター・スクライバー・タイムキーパー・発表者の決定

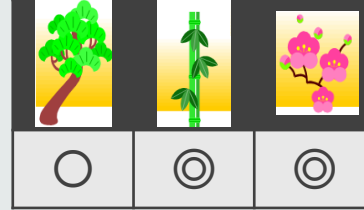
③プロジェクト失敗要因の洗い出しと整理

- プロジェクトの失敗要因(単語の箇条書きで可)をチームでできるだけ多く書き出す。
- 単語ベース・箇条書きで可。

※スクライブはGoogle docs利用、PPTやExcelのZoom画面共有などを推奨

※注意：今日是对応策に踏み込まない。対応策系の話が出たら、話を止めるのもファシリテート会議の進め方に注意を払ってください。

3. 時間 60分 (グループワーク後 2分/チームで発表)

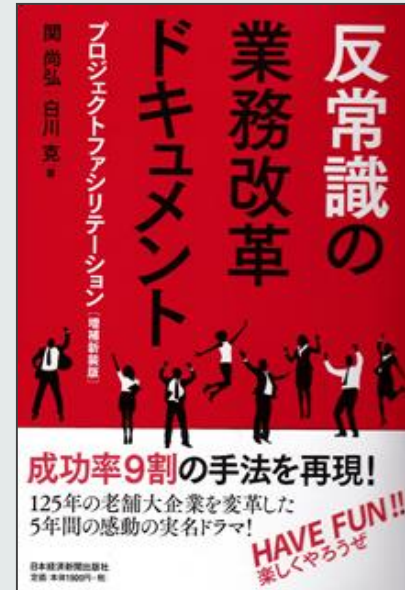


書籍紹介



初版:2009年8月19日

日本経済新聞出版社



増補版:2013年10月21日

日本経済新聞出版社



2020年8月22日

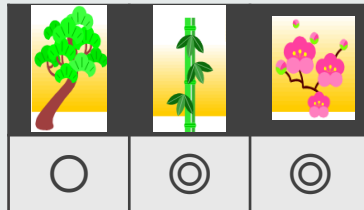
日本経済新聞出版社

榊巻 亮

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)

百田 牧人・岡本 晋太郎

住友生命社員



書籍紹介

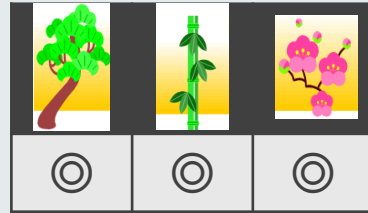
ファシリテーション



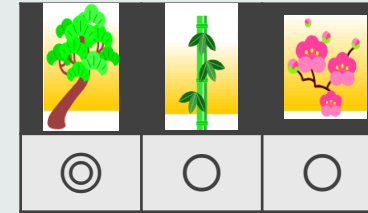
資料作り



書籍紹介



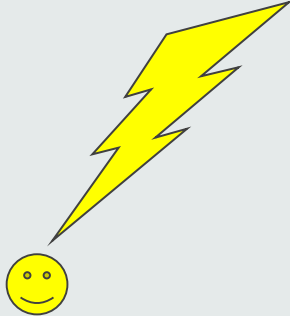
抵抗勢力対応



プロジェクトファシリテーション



1日目終了 お疲れ様でした

HAVE FUN 



DXのためのプロジェクトファシリテーション 2日目

2021年2月27日 JSDG 関 尚弘

アジェンダ

- | | | |
|-------------------------------------|-------------|-------------|
| 1. はじめに 30分 (含：グループワークでのZoomの使い方練習) | 14:00-14:30 | 14:07-14:43 |
| 2. グループワーク 100分(含：休憩10分) | 14:30-16:10 | 14:43-16:22 |
| 3. クラスワーク「発表～ギャラリーウォーク～ワールドカフェ」 30分 | 16:10-16:40 | 16:22-17:00 |
| 4. 事例紹介「プロジェクトファシリテーション活用」 特別編 30分 | 16:50-17:20 | 17:00-17:30 |
| 5. グループワーク「研修の振り返り」 10分 | 17:30-17:40 | 17:30-17:40 |
| 6. おわりに 20分 | 17:40-18:00 | |
| 7. 懇親会(任意) ～19:00 | | |

ミニ会議
準備10分+(20分×4)+10分休憩含む

ギャラリーウォーク & ワールドカフェ
(ギャラリーウォーク10分+チーム内共有5分)×2

プロジェクトファシリテーション 成功に導く様々な仕掛け

- 介入手段 (各々ファシリテートされた会議で運営)
 - 》 コンセプトフレーミング
 - 》 ノーミング
 - 》 キックオフ
 - 》 体制表
 - 》 プロジェクトスケジューリング/会議設計
 - 》 プロセスマトリクス
 - 》 FM
 - 》 コミュニケーションプラン
 - 》 リスクマトリクス
 - 》 PMO (信号表)・ステコミ
 - 》 Issue解決セッション
 - 》 立ち上げタスクリスト
 - 》 **会議Prep**
 - 》 議事録
 - 》 サンセット

関からは赤字部分を紹介

組織や人材の力の引き出す

1on1、**フィードバック**など一般的手法

Role & Responsibility

会議ファシリテーション

言いたいことを言い合えるチーム作り

殻付き落花生

合宿

雑談ルーム

アシミレーション

抵抗勢力と向き合う

イノベーター理論

その他

3現主義

ダークサイドスキル

ホラーストーリー

ストレスゼロの伝え方

ITC

感性・嗅覚

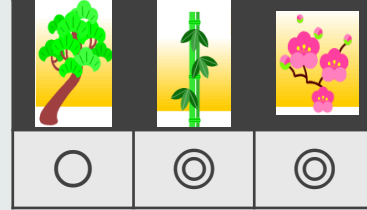
Have Fun!

アジェンダ

1. はじめに 30分 (含：グループワークでのZoomの使い方練習) 14:00-14:30
2. グループワーク 100分(含：休憩10分) 14:30-16:10
3. クラスワーク「発表～ギャラリーウォーク～ワールドカフェ」 30分 16:10-16:40
4. 事例紹介「プロジェクトファシリテーション活用」 特別編 30分 16:50-17:20
5. グループワーク「研修の振り返り」 10分 17:20-17:40
6. おわりに 20分 17:40-18:00
7. 懇親会(任意) ～19:00

ミニ会議
準備10分+(20分×4)+10分休憩含む

ギャラリーウォーク & ワールドカフェ
(ギャラリーウォーク10分+チーム内共有5分)×2



【説明1/2】 グループワーク(ファシリテーター体験)

1. 目的

- ① 1人1回ずつファシリテーターを体験する
- ② 他の人のファシリテートに対してフィードバックを行うことで、わが身を振り返る

2. 内容

- ① 進め方と役割分担決定(10分)
各会議の①スクライバー、②タイムキーパー、③ワールドカフェ1回目説明者、④2回目説明者を決める
- ② ミニ会議対応策検討会議
宿題のホラーストーリーと会議準備シートを共有し、自分の担当テーマに関する対応策検討会議をファシリテートし、各テーマについて特に有効と考えられる対策を3つ書き出す。

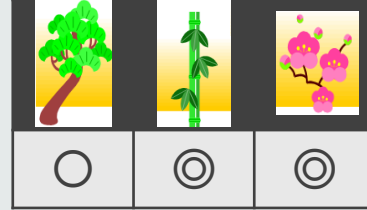
※記録はGoogle docsの自グループのページに

<https://docs.google.com/document/d/1eNIytSA34WnQxRb4bLahkIcuuA7kZMizfbej7ZPGfJw/edit?usp=sharing>

3. 時間 計100分

- ① 進め方と役割分担決定10分
- ② 演習(会議15分+フィードバック5分)×4回=80分
- ③ 途中 休憩10分



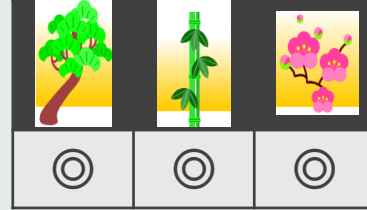


【説明1/2】

グループワークのアウトプット例(カスタマイズ可)

各テーマについて特に有効と考えられる対策を3つ書き出す

テーマ(例)	特に有効と考えられる対応策
1.ナレッジ不足	
2.ゴールが上手く共有されていなかった	
3.情報開示されていなかった	
4.抵抗勢力の台頭	



本日一番意識いただきたいことは、これ!

【FYI】会議ファシリテーション 簡易チェックシート

ファシリテーターは…

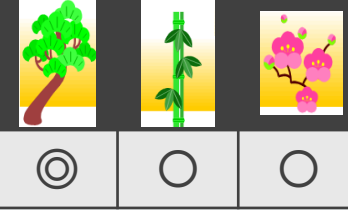
- 傾聴ができていた
- 会議の目的・ゴール・アジェンダを確認してから開始した
- 会議では一部の人に偏ることなく全員が発言した。(全員から意見を引き出した。)
- タイムマネジメントが出来ていた(またはタイムキーパーを指名した)
- ファシリテーターは中立な立場だった(自分の意見を言う時と立場を区別していた)
- 発言を遮ることなく、最後まで言い切らせた(冗長な発言への介入を除く)
- 会議の目的・ゴールを達成した。決定事項が明確だった

松のファシリテーターは…

- 意見を十分に発散させた
- 板書や図解などの手法を用いて議論を整理した
- 本題と異なる意見を的確に捌いた
- 意見を収束させた
- 会議後、参加者にフィードバックした

※ファシリテーターは完璧である必要はない。

どんどん間違い・否定されてOK。 その結果、参加者の理解が進み、議論が進むのであれば役割り果たせていることになる。



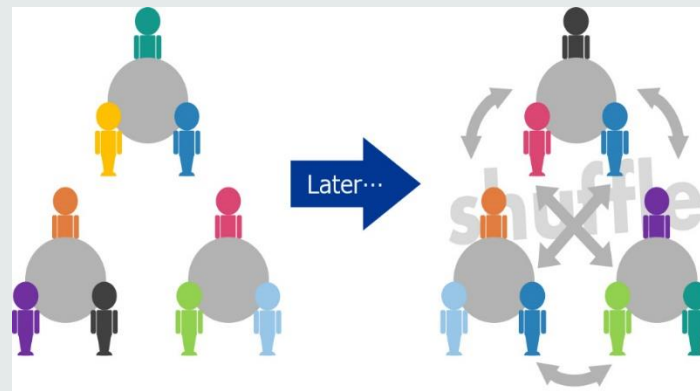
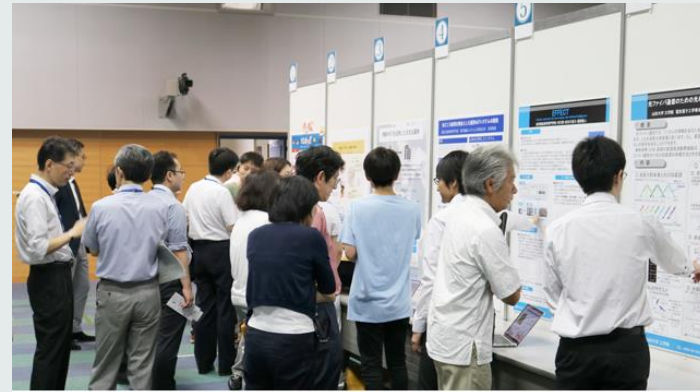
Zoomの使い方
ご参考

【説明2/2】

ギャラリーウォーク & ワールドカフェ

1. やり方

- ① ギャラリーウォーク 10分間(ブロードキャストで案内)
任意のチームを訪問し、ディスカッションを行う
「ギャラリーウォーク 残り1分です。」
「ギャラリーウォーク 終了です。自分のチームに戻ってください」
- ② ワールドカフェ 5分間(ブロードキャストで案内)
自チームに戻り、他チームの内容を共有し、
必要に応じ追加・修正を行う。
「ワールドカフェ 残り1分です」
「ワールドカフェ 終了です。ギャラリーウォーク2回目を始めてくだ
さい」
- ③ ①②を2セット実施



ミニ会議
準備10分+(20分×4)+10分休憩含む

ギャラリーウォーク & ワールドカフェ
(ギャラリーウォーク10分+チーム内共有5分)×2

アジェンダ

1. はじめに 30分 (含：グループワークでのZoomの使い方練習) 14:00-14:30
2. グループワーク 100分(含：休憩10分) 14:30-16:10
3. クラスワーク「発表～ギャラリーウォーク～ワールドカフェ」 30分 16:10-16:40
4. 事例紹介「プロジェクトファシリテーション活用」 特別編 30分 16:50-17:20
5. 17:20-17:40
6. おわりに 20分 17:40-18:00
7. 懇親会(任意) ～19:00

JSDG入会のご案内

以下の条件を満たす方であれば、どなたでもご入会いただけます。

正会員

- ・以下に掲げる情報処理技術者の合格者
- ・システムアドミニストレータ宣言の主旨に賛同する個人
- ・本会所定の審査を通過した者。

合格日	試験区分
平成20 年度以前	・上級システムアドミニストレータ試験
平成21 年度以降	・ITストラテジスト試験 ・システムアーキテクト試験 ・プロジェクトマネージャ試験 ・ネットワークスペシャリスト試験 ・データベーススペシャリスト試験 ・エンベデッドシステムスペシャリスト試験 ・情報セキュリティスペシャリスト試験 ・ITサービスマネージャ試験 ・システム監査技術者試験
平成28年以降	・高度試験に該当する試験 ・情報処理安全確保支援士試験

入会金 2000円（入会年度の年会費含む）
年会費 2000円

※ 振込先は仮入会手続き終了後、メールにてお知らせします。

準会員

- ・独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報処理技術者試験において[表]に該当しない試験合格者
- ・**または**本会会員の紹介を受けた者で、システムアドミニストレータ宣言の主旨に賛同する個人であり、本会所定の審査を通過した者。

詳しくはJSDG Webサイトへ

<https://jsdg.org>

詳しくはJSDG Webサイトへ

<https://jsdg.org/admission/>



最後に

HAVE FUN 

ありがとうございました